

パソコン自動切替器 REX-430U ユーザーズマニュアル

2016年3月 第4.0版

この度は、REX-430Uをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本マニュアルは、本製品を正しく安全にお使いいただくための取り扱い方法、使用上の注意等について説明するものです。ご使用前に必ずお読みください。

ご使用前に

パッケージ内容の確認

内容物は次の5点です。内容に不足がある場合は、お手数ですが弊社サポートセンターまたは販売店までご連絡ください。

- ① REX-430U本体
- ② x30Uシリーズ用接続ケーブルx1 (170cm)
- ③ x30Uシリーズ用接続ケーブルx1 (120cm)
- ④ ユーザーズマニュアル (本紙)
- ⑤ 保証書 (1年保証)

本製品の特長

- 1組のキーボード・マウス・ディスプレイで4台のパソコンを操作。
- USB接続ワイヤレスキーボード&マウスセット、多機能マウスに対応。
- 最大解像度2048x1536(85Hz)、16:10および16:9のワイドディスプレイにも対応。マルチスキャン対応。
- Windows PCとMacの混在使用が可能。
- ホットキー・切替ボタンの2通りの切替に対応。
※Mac OSでホットキー切り替えをおこなう場合は、KVMユーティリティ (ダウンロード提供) が必要です。
- パソコンの電源を入れるだけで、すべてのパソコン画面を正しい解像度で表示。
- キーボード・マウスをみの接続も対応。
- 切替機能を拡張するKVMユーティリティをダウンロード提供。

各部の名称と機能

● REX-430U本体

- ① 切替ボタン
パソコンを切り替え
- ② LED
選択ポートが緑色に点灯
- ③ USBポート (㊄)
マウスを接続
- ④ USBポート (㊄)
キーボードを接続
- ⑤ ミニD-sub15ピン (㊄)
ディスプレイを接続
- ⑥ DCジャック
USBポートからの電源が不足する場合や不安定な場合は、別売ACアダプターを接続
- ⑦ PC1・PC2
x30Uシリーズ用接続ケーブルを接続
- ⑧ PC3・PC4
x30Uシリーズ用接続ケーブルを接続

● x30Uシリーズ用接続ケーブル

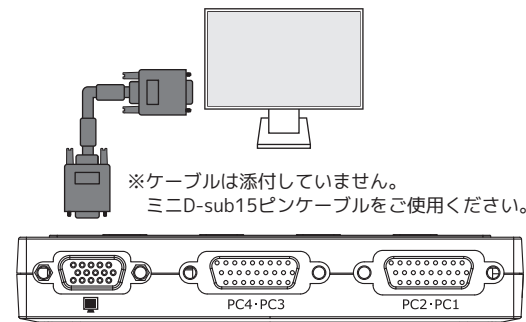
- ① x30Uシリーズ用
REX-430U本体に接続 (一体型コネクタ)
- ② PC1用 (識別シール 貼付)
パソコンに接続
(USBコネクタ・ミニD-sub15ピンコネクタ)
- ③ PC2用 (識別シール 貼付)
パソコンに接続
(USBコネクタ・ミニD-sub15ピンコネクタ)

※識別シールの表示は同じですが、もう一本のケーブルはPC3・PC4用にご使用ください。

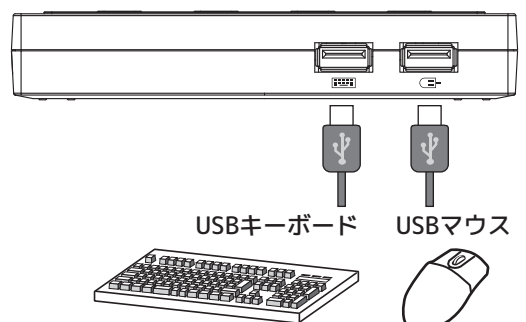
設置・接続の手順

- ・本製品を接続する前に、ご使用になるキーボード・マウス・ディスプレイの対応機種、対応OSを予めご確認ください。また、直接パソコンに接続し正常に動作することをご確認ください。
- ・接続の前に、接続するパソコン、ディスプレイの電源ケーブルを抜いてください。
- ・コネクタの形状や向きをよくご確認の上、それぞれのポートにしっかりと接続してください。
- ・キーボード、マウスは必ず接続してください。
- ・ディスプレイのみを接続し、ディスプレイ切替器として使用することはできません。

① ディスプレイを接続する

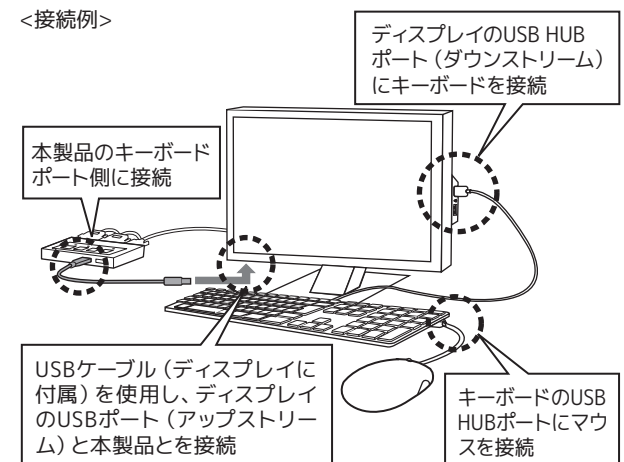


② キーボード・マウスを接続する



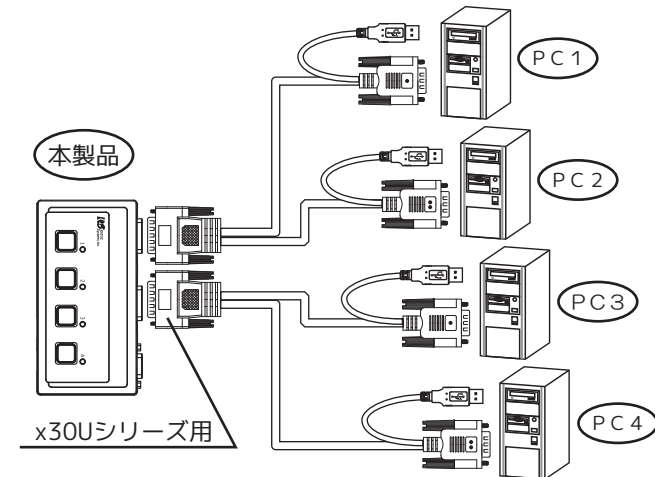
※キーボードポートとマウスポートは、挿し間違えないようご注意ください。
※キーボードとマウスがセットになったワイヤレス送信機を使用する場合は、キーボードポートに接続してください。

ディスプレイやキーボードに搭載されたUSB HUBポートを利用し、以下のような接続も可能です。

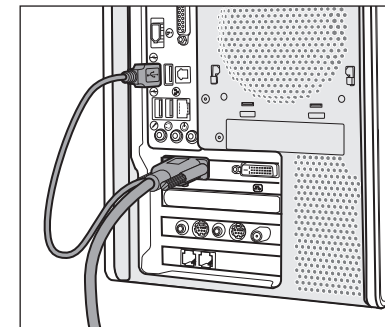


③ パソコンに接続する

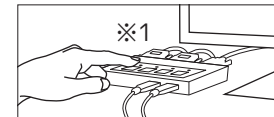
ミニD-sub15ピンディスプレイコネクタ、USBコネクタをパソコンに、一体型コネクタを本製品に接続します。



<パソコン背面側の接続例>



※1 切替ボタンが使用できる位置に本製品を設置してください。



以上で接続は完了です。
パソコンを起動すると、本製品を使用できます。

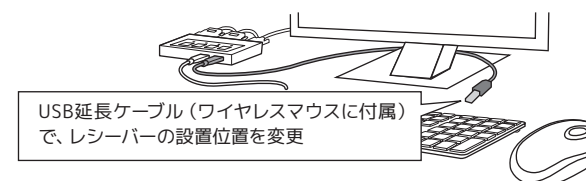
[Scroll Lock] キーが無いキーボードを使用する場合は
KVM ユーティリティをダウンロードしてください。
(ご案内は右下参照)

パソコンを起動してもモニターに映像が出力されない場合は
裏面「トラブルシューティング」をご参照ください。

※ご使用の環境によっては、初回起動時、本製品の認識が完了するまで数十秒かかる場合があります。

※パソコン起動後、解像度の再設定が必要となる場合があります。接続するパソコン (ビデオカード) およびディスプレイが、使用する解像度に対応している必要があります。

※ワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスをご使用の場合、コネクション再設定が必要となる場合があります。また、設置環境によっては、正しく動作しないことがあります。USB延長ケーブルなどでレーザーの設置位置を変更してください。

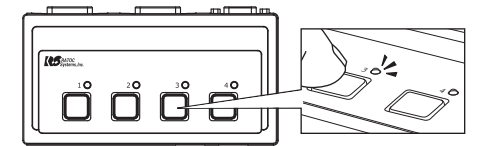


本製品の使い方

- ・切替操作は10秒以上の間隔をあけておこなってください。
- ・切替後、USBキーボード再認識のため、使用できるようになるまで数秒かかる場合があります。
- ・切替後、画面表示に数秒かかる場合があります。
- ・BIOS読み込み時、タイミングによっては、ホットキー切り替えができない場合があります。
- ・切替確認音は鳴りません。
- ・オートスキャン機能は搭載していません。

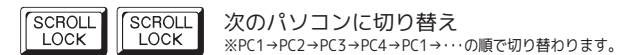
切替ボタン (本体のボタン) による切り替え

本体上面にある切替ボタンを押して切り替えます。



ホットキー (キーボード) による切り替え (Windows)

[Scroll Lock] キーを2秒以内に連続して2回押すと、切り替えをおこなうことができます。



また、電源OFFのパソコンはスキップして切り替えをおこないません。
例) PC2のパソコン電源がOFFの場合 PC1→PC3→PC4→PC1→PC3…
※PC2のパソコン電源をOFFにしてもPC2のパソコンのUSBポートから電源が供給されている場合、PC2はスキップされません。

※以下の場合、ホットキー切替はできません。製品本体の切替ボタンで選択してください。

- 1) 現在選択のパソコン電源がOFFのとき
- 2) 切替先のパソコン電源がOFFのとき

切り替え先のパソコンが電源OFFでも、USBポートから5V電源を出力している場合は、ホットキーで選択されます。ただし、この状態からも次のパソコンへの切り替えは、切替ボタンでおこなってください。

※[Scroll Lock] キーを1回押した後、[Esc] など他のキーを押すことでホットキーは無効になります。

※ホットキーは[Scroll Lock] 以外のキーに変更できません。
KVMユーティリティを使用した場合は、ほかのキーに割り当てができます。

※[Scroll Lock] キーが特定の機能や操作に割り当てられているアプリケーションは、正常に動作しない場合があります。

※[Scroll Lock] を2回押しでも切り替わらない場合は、本製品が[Scroll Lock] を検知できなかった可能性があります。もう一度 [Scroll Lock] を押してください。

※キーボードによっては[Scroll Lock] キーが[ScrLock] または[ScrLk] と表示されている場合や、[Fn] キーと同時に押す必要がある場合があります。

KVMユーティリティで 切替操作をカスタマイズ



※Windows 8以降およびMac OS X 10.10以降に非対応です。
※Mac OS XのMac OS 9 Classicモードでは動作しません。

KVMユーティリティで、下記の機能を追加できます。

- 好みのホットキーを追加
[Scroll Lock] キー以外に、ファンクションキーをホットキーとして指定できます。
- ホットスイッチ機能を付加
デスクトップ上に切替スイッチを表示できます。
- タスクトレイアイコンで切り替え (Windowsのみ)
- パソコンのスリープ時に自動で切り替え
パソコンがスリープすると、自動的に次のパソコンに切り替わります。

ホームページからKVMユーティリティをダウンロード
<http://www.ratocsystems.com/services/driver/kvm.html>

